

1 事業内容

団体名	特定非営利活動法人くしろ・わっと
事業名	未来につながる多世代型コミュニティ拠点創成事業
課題テーマ	地域を担う人材育成・安心して暮らせる都市
事業提案の背景	大学や高校群が集まる市内屈指の文教地区である釧路市橋南地域で進む少子高齢化の中で、学生、子ども、高齢者の各世代が交流することで、地域社会の未来につながるコミュニティ拠点の創出が求められている。
事業目的	①地域コミュニティ拠点での多世代交流の推進 ②高齢者の認知症予防及び健康保持 ③子どもたちや子育て世代の居場所づくり
事業概要	釧路市大川町にある空き地と店舗を活用して、多世代型地域コミュニティ拠点「笑顔のニュータウン」を令和3年8月に創設、キッチンカー・買い物広場、地域食堂、高齢者健康教室、小中学生学習支援教室、地域学講座等を令和4年2月まで実施した。
事業展開	①8月「笑顔のニュータウン」開設記念セレモニーイベント広場を開催。毎週木曜日「高齢者健康教室」を計27回実施。「地域食堂」を8月から2月まで計7回開催。 ②9月「秋まつり・キッチンカー・買い物広場」を開催、毎週土曜日、小中学生学習支援教室「てらこやタウン」をスタート。1月まで計18回実施。 ③10月「みんなで楽しむ地域学講座」スタート、11月、1月、2月まで計4回実施。 ④2月広場で「親子で楽しむ冬まつり」を開催。
成果目標の達成状況	多世代型地域コミュニティ拠点での諸事業の定期的開催で、新型コロナウイルス感染症の元であっても、地域住民の居場所づくりと交流が進み、子どもたちや高齢者が喜ぶ環境が生まれた。
波及効果の達成状況	釧路市橋南地域住民のみでなく、広く市内全般か、市民が訪れるようになり、この拠点を活用したいとの要望も高まっている。
実施体制	7月にNPO法人くしろ・わっとの主導で東部北包括支援センター、道教大学宮前ゼミ、釧路城山商店街、ふまねっと946などの市民活動団体らで構成する「笑顔のニュータウン運営委員会」（委員15名）を設立し、事業の実施にあたった。
連携した市担当課	無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> （福祉部 地域福祉課・室）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	・福祉分野での助言、連携 ・高齢者の健康づくりや介護予防分野での連携

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	250,000	
自己資金	691,934	
合 計	941,934	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
委託費対象経費		
委託料	120,641	
旅費	237,000	
謝礼	40,000	
印刷製本費	188,000	
使用料・賃借料	177,300	
小 計	762,941	
対象外経費		
光熱水費	87,779	
食材費	91,214	
小 計	178,993	
合 計	941,934	